

個別施設計画

策定年月 H30.1

施設名	計量管理センター		所在地	岡山市北区今保661番地		
敷地面積	4,661.00 m ²		棟数	4 棟 (計画記載対象 1 棟)		
延床面積	975.00 m ²			※対象は200m ² 以上の建物(車庫・倉庫等は500m ² 以上) ※公舎・寮は全て対象		
設置目的	計量法で定められている適正な計量の実施を確保することにより、貨幣制度と並び経済活動や社会生活の根幹を支えている計量制度の安定的運営を図る。					
【想定される自然災害】						
	予想震度	6弱	津波	-	浸水	1.0m以上2.0m未満
建築規制	市街化区域、準工業地域 建ぺい率60%、容積率200%					
エネルギー使用量 (2016年度)	電気	ガス	水道	燃料(灯油)	燃料(ガソリン)	
	36,243 kwh	38 m ³	239 m ³	504 ℓ	507 ℓ	
管理上の特記事項	敷地内未利用地 なし、敷地内貸付地 なし					

1 施設内建物の概況

名称	本館	
築年(西暦)	1970年	
構造	鉄筋コンクリート造 3階	
建築面積	407.00 m ²	
延床面積	897.00 m ²	
主要な用途 (室名等)	執務室(4室) 162.38m ² 会議室(2室) 99.33m ² 検定室 139.87m ²	
主要な設備 (屋外を含む)	電力設備(受変電設備) 消防設備(自動火災報知設備) 給排水設備	
利用状況	低	
耐震性 ※1		
躯体(コンクリート)の健全性 ※耐震診断済のみ	圧縮強度 ※2	
	中性化 ※3	
長期使用の適否	建物傾斜 ※4	適
	地盤沈下 ※5	不適
劣化状況 (劣化が進んでいるもの)	屋根 外壁	

※1 耐震性有:耐震診断の結果Is値≧0.6(震度6強~7程度で倒壊する危険性が低い)又はS56.6以降に建築の建物 (S56.6より前に建築の車庫・倉庫は耐震診断対象外)

※2 圧縮強度:13.5N/mm2未満は不適

※3 中性化:築後65年時点でコンクリートの中性化が30mm以上の見込みは不適

※4 傾斜が有る場合は不適

※5 地盤沈下が有る場合は不適

2. 対応方針

(1) 施設全体の方針

旧耐震基準の建築物で老朽化が進んでおり、現地の地盤沈下もあることから、移転建替を行う。

(2) 建物ごとの方針

区分	対応方針
本館	旧耐震基準の建築物で老朽化が進んでおり、現地の地盤沈下もあることから、移転建替を行う。

3. 施設全体のスケジュール

(概要)

1 建替
 2018年 基本設計・実施設計
 2019年 施工

(単位:億円)

区分	対応方針	2017	2018	2019	2020	2021	2022	2023	2024	2025	2026
本館	移転建替		設計	施工 2							
本館	廃止				用途廃止						

4. 概算費用

・総額 2億円(移転建替)